



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

# 大阪高槻ラウンド報告

平成30年9月8日(土)高槻市役所総合センターにて「高槻ラウンド」を開催しました。  
大阪での開催は、今回で3回目です。佐藤先生、高橋調査官をはじめ、府外から11名、府内から31名とたくさんの方々にご参加いただきました。  
お話をいただきました佐藤先生、高橋調査官、ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

## 1. 情報提供「知識を基盤とした学習の充実について」

高橋調査官からは、新しい学習指導要領について説明をいただきました。

まず、総則の改訂について、「社会に開かれた教育課程」、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善についてお話しいただきました。

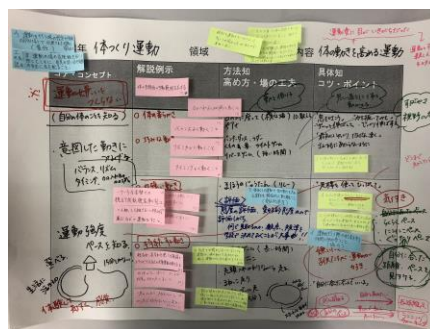
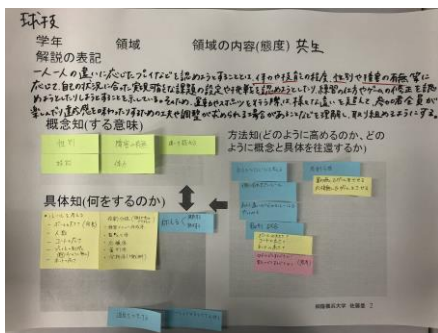
体育・保健体育の授業で、3つの柱で整理された「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育成するためには、それぞれの指導場面を設定し、子どもたちがそれを自覚できる場面を作ることが大切…、このような授業を通して、子どもたち一人一人の豊かなスポーツライフの実現につながっていくといいですね。



## 2. ワークショップ「体育・保健体育における汎用的な知識を考える」

今回は、「概念的な知識・具体的な知識・方法的な知識」から知識を深めるワークショップを行いました。運動のポイントやコツとなる具体的な知識の指導だけではなく、何のためにその運動を行うのかという概念的な知識や改善するための方法的な知識について、グループで整理していきました。

途中、佐藤先生と後藤先生が盛り上げてくれました!!



先生方からは、「何のために…のイメージがないま具体知だけの指導だけになりがちだったので、根幹を大事に指導していきたい」「概念知・方法知・具体知など、授業を改善していくために必要な視点がわかった。」「見方・考え方を大切に、自分の教えたい、伝えたいことを核にこれからも取り組んでいきたい」などの意見がありました。

## 4. まとめ

佐藤先生からは、今回のワークショップをもとに、「体育の見方・考え方」を踏まえた指導内容について、水泳・陸上を例にお話しいただきました。授業を改善するときの考え方として、「体育の見方・考え方」をもとに、概念的な知識を整理することが大切であることなど、授業をつくるうえでのヒントをたくさんいただきました。

